

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和元年 5月24日	作成者名	後藤 英明	評価者名	安部 孝良
-----	------------	------	-------	------	-------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	市民生活部・防犯くらし交通課
分野	03 防犯	関係課	危機管理防災課・危機管理防災課
施策	32 防犯体制の強化		
施策の目的	市民の誰もが安全で安心して暮らせるよう、地域と連携した防犯対策を推進するとともに、防犯体制の強化を図ります。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	犯罪抑止対策事業
取り組み②	防犯対策事業
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
犯罪発生率	埼玉県内における犯罪発生率の順位 (警察本部発表)	位	11以下	5	9	11	17		
パトロール支援	自主防犯パトロール支援割合の維持	%	100	100	100	100	100		
「とだピースガードメール」登録者数	全登録者の人数	人	5,000	4,700	4,941	4,927	3,002		
その他施策の取組事項に係る成果	前年度に引き続き、埼玉県内における犯罪発生率の順位は県内ワースト10位を脱却した。また、自主防犯パトロールの支援割合も100パーセントを維持している。								

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	平成30年の犯罪発生件数は1,201件と、前年から156件減少し、犯罪発生率も県下ワースト17位と、当初の目標を達成した。しかし、発生した犯罪の種類別で見ると、自転車盗が全体の約3割と依然として高水準で発生している。また、振り込め詐欺の予兆電話や不審者による子どもへの声掛け事案も多いため、これらへの対応が課題と考える。 また、平成30年度から市のメール配信サービスをいとだメールに切り替えたところ、登録者数が大きく落ち込んだ。このことから、登録者の早期回復も課題である。	対応策	委託警備員による犯罪多発場所の重点的なパトロールを継続すると共に、様々な機会を通じて自転車盗対策のキャンペーンなどの啓発活動や、学校を通じて子どもへの防犯意識の醸成に繋がる活動を実施する。また、犯罪情報や振り込め詐欺予兆電話に関する情報をより迅速に市民に配信していく。 さらに、市による防犯カメラの増設や町会にて設置した防犯カメラの設置費用の補助を通じて市内での防犯カメラ設置を促進し、犯罪抑止に繋げていく。 メール登録者の回復については、減少の要因を分析し、登録者の増加に向けて積極的なPR活動を行う。
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	市の防犯パトロールや町会、事業者における自主防犯活動及びイベントや交通安全教室での自転車盗防止活動を行ったことにより、犯罪発生率は当初の目標を達成した。また、平成29年度から平成31年度までの期間限定で町会等が設置する防犯カメラの経費の補助制度を開始し、平成30年度は、6町会で計18基の防犯カメラ設置を補助した。
<b>B</b>		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	犯罪発生率は、当初の目標を達成したが、今後さらに犯罪を減らしていくため、現状の取組の継続は必要であり、防犯カメラについては町会への設置補助のほか、不審者や事故対策として小学校区内に市で設置・管理する「見守り防犯カメラ」の整備を進め、更なる犯罪抑止に繋げていくことから、予算の増加が必要である。
<b>↑</b>		

## (評価者コメント)

市は、これまで警察官OBや委託警備員が青色回転灯装備車両によるパトロール、町会等による自主防犯パトロールなど様々な防犯活動を積極的に推進してきた結果、刑法犯認知件数は年々減少し、犯罪発生率も県内ワースト10位から脱却することができた。今後も、一層犯罪を減らすため、効果的な犯罪抑止方法を検討していくと共に、防犯カメラの増設やメールによる振り込め詐欺予兆情報の迅速な配信等を通して、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりに向けた取り組みを継続していく。
---

